

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公開番号】特開2007-136679(P2007-136679A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2005-329175(P2005-329175)

【国際特許分類】

B 2 9 C 45/14 (2006.01)

B 2 9 C 49/24 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 45/14

B 2 9 C 49/24

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月12日(2008.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プラスチック材料から射出成形法もしくはプロー成形法によって成形された物品であって、前記物品の表面に、露出されたもしくは透明性保護層下に見える模様、塗装色もしくはメッキ調等の装飾を有する装飾シートが一体的に成形されており、前記装飾シートが、前記物品の成形時、成形金型に予め配置された予備シートからフィルムインサート成形によって成形されたものであり、前記予備シートが、皺、ひだ、プリーツ、折り目などの付与やフィルム外周を保持する枠を押し縮めることなどにより前記装飾シートの面積より小さい投影面積を付与しきつそれを保った状態で前記成形金型に配置されたものであることを特徴とする樹脂成形品。

【請求項2】

前記成形金型のキャビティ開口部上において、前記装飾シートの面積に対する投影面積の割合(以下、寄せ率Aという)が0.8以下であることを特徴とする請求項1に記載の樹脂成形品。

【請求項3】

前記寄せ率(A)と、前記成形金型のキャビティ開口部面積を100としたときの成形品表面積(B)との関係において $A \times B - 100$ の値がB-100の値の0.5倍以下であることを特徴とする請求項2に記載の樹脂成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】樹脂成形品